

WAVE

vol.91

2019.11

TAKE FREE

誰もが自分らしく生きる社会を実現するために。

それも罪
「花水木」
見過す空気
セケハラを

途上国
男女格差は
「むーむー」
男女110位

ジェンダー川柳5選

ばかりなの
ばかりに帰つた
私がまだか
飯まだか

「新米」



最優秀賞

お客様
「大恵やすよ」
女では
不都合ですか

聞く休め
く休め
産休めた?
上司明け
「山本つべる」
休めた?と

contents.

- P2 Jo-Shizu防災講座 「私の声を地域に活かす」
- P4 interview パワーをチャージして育休復帰
- P5 自営業の夫を持つ女性へ
- P6 AICEL TOPICS P7 講座のご案内



静岡市女性会館では、男女共同参画社会基本法施行20年を記念し、「ジェンダー川柳」を募集。全国から1,153句ものご応募をいただきました。入選作品30句を館内ギャラリーとWEBで発表したのち、みなさんからお気に入りの句に投票していただき、上位5句を優秀作品として表彰しました。



静岡市女性会館は、女性も男性も誰もが自分らしく幸せに生きることができる社会を目指し、課題解決型事業に取り組んでいます。現在は、「女性の就業継続の応援」「困難を抱える女性のエンパワーメント」「男性にとっての男女共同参画の推進」の3点に重点を置き、男女共同参画社会の実現に力を注いでいます。

もしもの時に実を結ぶ

日常の男女共同参画

静岡市女性会館では今秋から年末にかけて女性向け防災講座（連続5回）を開催しています。9月28日の第1回は公開講座として「被災地に学ぶ災害に強い地域づくり」をテーマに、NPO法人イコールネット仙台代表理事を務める宗片恵美子さんが講演しました。「もしもの際に役立つのは、地域で時間をかけて育てた人材とネットワークであり、そこには女性が欠かせない」。東日本震災から8年を経た今も女性のための防災リーダー養成講座やアーカイブ事業など精力的に活動を続ける宗片さんの言葉は、穏やかながらも力強く、説得力あふれるものでした。



NPO法人イコールネット仙台 代表理事 宗片恵美子さん
2003年男女共同参画の推進に向け、イコールネット仙台の設立にかかる。団体の一員として、08年「災害における女性のニーズ調査」を実施。東日本大震災発生以降は、被災女性に対する支援活動や調査活動に取り組んだ。11年6月「女性のチャレンジ賞」（内閣府）を受賞。中央防災会議専門委員、内閣府男女共同参画会議議員等を経て、現在、仙台市防災会議委員等を務める。

被災者同士が互いに助け助けられ

「洗濯物は『プライバシーなんですよ』。連続講座受

講者35人のほか41人が集まつた講演会場は、男性が3分の1を占めていました。「被災地に学ぶ災害に強い地域づくり」と聞けば、耐震設計や瓦礫からの救出活動などを想像しがちです。しかし、

宗片さんが、避難所、仮設住宅での支援活動としてまず切り出したのは「洗濯物」でした。着の身

着のまま逃げてきて着替えも入浴もできない毎日、間近に響く他人のいびき、高すぎても低すぎてもいけない避難所の間仕切り…いずれも実際に被災し、避難生活を体験するまでわからないことがかりです。

宗片さんたちは、洗濯を行う人と集配作業をする人とを分け、さらにジッパー付きの袋に入れる

ようになりました。被災しても自宅の洗濯機が使えた女性が大勢ボランティアで参加してくれました。助けを求める者が助ける者となり、助ける者もまた助けられる立場になれること。これは宗片さんが代表を務めるイコールネット仙台の「防災に強い地域づくり」を支える基盤ともいえます。

サイズの合った下着や使い慣れた化粧品が手に入らない。女性や子どもを対象にした痴漢や盗撮の発生。避難所で女性たちが抱える困難は多岐にわたります。男性も同じですが、女性は特にそれ言い出せない雰囲気があると言います。「このぐらいのことは我慢しなければならない。こんなときには要望を出すのは贅沢だ。ついそういう意識が働くんですね」。

災害時に露呈しやすいジェンダー

「自治会推薦で選出され、避難所を仕切る地域

防災リーダーがほぼ男性であることの影響は非常に大きいです」。女性だけが被災者の三食作りを押し付けられる、D&Vやセクハラが悪化するなど、災害時ほど、日常から潜在的に存在している性別役割分業やジェンダー、性差別意識が露呈する機会はないかもしません。

イコールネット仙台は、活動テーマを「生活すべて」としています。その通り、支援活動は「生活の生活による生活のためのもの」でした。余震が続く中、避難所生活も長引きます。宗片さんたちはもとには切実な訴えが多く寄せられました。日頃から育児や介護をメインで担当している女性は、まず避難所に行けるかどうかという問題に直面します。

非常時、真っ先に解雇や整理の対象となる非常規雇用に女性が多く、自ら体調を崩してしまう人も少なくありません。それに対して明確な回答を出すより、まず耳を傾け、できるだけ持続可能な支援を、被災者自身が継続して対応、運営していく仕組みを考えることに宗片さんは努めました。宗片さんたちの活動を象徴する言葉「せんたくねつと」（せんたくねつと）

だいの女性たちが被災した女性の本音を・・・んくみとつ一緒に解決するネットワーク」という言葉も生



「知識と情報がなかつたために、私たちも多くの失敗をしました。特に障がいのある方への対応では多くの間違いがありました。しかしそのような経験こそ、多くの学びを与えてくれました」。

なぜ女性リーダーが必要なのか

る長期プログラムです。なぜ女性なのか。この問いは、地域になぜ女性が必要なのかとか、なぜ女性の視点が必要なのかと同じ問い合わせだと宗片さんは考えます。

「ハード面の備えももちろん大切ですが、地域の担い手となる人を育てることが何よりも大切です。時間はかかりますが、それが一番間違いないんです」。『東日本大震災に伴う「震災と女性』に関する調査』によると、復興計画策定の議論の場に女性が必要と答えた人の割合は85パーセントにものぼり

女性会館から講座の出前します!

「多様な視点で地域の防災力アップ」

女性会館では地域防災活動への女性の参画を進めるために、2018年度より自主防災会等地域への出前講座を行っています。講師は、全国女性会館協議会主催の「災害（復興）・防災と男女共同参画に関する講師養成研修」を修了した職員が務めます。

この講座の目指すところは、①災害発生時からの生活をイメージする②過去の災害から性別・立場別に異なる災害時の困りごとを知る③防災や災害復興に女性が気づいたことを声にあげることが大切であると気づくことです。最終的な目標は、女性が地域の防災活動に主体的な担い手になること。

今年度の出前講座は、7月10日に安東2丁目2区自主防災会、9月24日に西奈南小学区連合自主防災会で実施しました。どちらも、参加者は地域の女性と自主防災の役員。話し合いのワークショップも取り入れた90分のセミナーです。「知識を得るだけでなく、話し合いを通してご近所に住んでいる方々と顔見知りになれたのがよかったです」「みなさんと話し合うことで、様々な意見があり、いろいろな解決策があることがわかった」「女性のリーダーの大切さを知った」などの感想をいただきました。

出前講座の問合先
静岡市女性会館

📞 054-248-7330



- ② 実効性の高い防災訓練の見直し

③ 地域の防災にかかる資源の確保

④ 女性が防災の主体となる仕組み

⑤ 避難所ワークショップ

「避難所の設計図を描いてみませんか？」
実際にミニューレーションして避難所を作つてもいいです。ホルダーも場所でどうやってトイレを設置するかは大事で、実際に取りつけましょうか。実現できるかどうかは大事で、せん。避難所を自分たちのものらしく、見つけ出すプロセスが大

長げること、それには災害時だけでなく日常生活でも必要なスキルです。そのようなスキルを磨いた女性リーダーや住民によって日常生活の中から男女共同参画が醸成されていくことが、災害時に実を結びます。

防災枠組 2015-2030】が第3回国連防災世界会議で採択されました。仙台から始まった活動は全国各地へ広がりつております。

* * *

女性防災リーダーの具体的な活動事例紹介、質疑応答を経て講演は終わりました。帰りの工レベーターで一緒になつた夫妻がしみじみつぶやきます。「体験した人はやはり違うね」「避難すれば終わりじゃないんだね。生活していくなかけりやならないんだから」。物や設備だけではなくして非常時の男女共同参画なし。それぞれの心に深く刻まれた一日となりました。

実際に地域の防災力を高めるために
は、5つの実践が欠かせないと宗片さん
は言います。

「」。わかりやすい企画書の書き方、自分の意図をしっかりと伝えるだけでなく人の意見をきちんと聞く力を身につけること、プレゼンテーションに

と女性・若者など防災分野でこれまであまり発言権のなかつた多様な集団にみずからリーダーシップを發揮する人として焦点を当てた「仙台

パワーをチャージして

育休復帰



「教員だからこそ、生まれてくる我が子とじっくり向き合いたい」—3人の子どもの出産・育児のため、続けて7年間の育休を取得し、この春現場復帰した藤田華枝さん。一般企業では難しい長期の育休取得ですが、教員という特殊な事情から長期間取得する人が多いと聞きます。藤田さんは、育休期間を活用して、アイセル女性カレッジで学んだり、図書コーナーを利用したりして、女性問題や子育てに関する学びを深めました。復帰後の生活のこと、学校現場のこと、生徒たちへの思いなどを伺いました。

静岡市立中学校 教員 藤田華枝さん

【プロフィール】静岡市生まれ。県外の大学を卒業後静岡に戻り、市立中学校教員となる。同業の夫と結婚、現在、子どもたちは7歳、5歳、3歳に。職場では、1年生のクラス担任と国語の授業を担当。

—育休復帰にあたって不安はありましたか。

授業がきちんとできるだろうか、以前は19時すぎまでやっていた仕事を定時で終わらせることができるだろうかなどの不安はあります。が、復帰した先輩の様子を見たり聞いたりしていて、たぶん大丈夫だろくなという感覚はあります。民間企業と違って、7年間のプランクがあつても、一教員として戻れる安心感はありました。今も復帰直後ということで、仕事の分担を配慮してもらつており、ありがとうございました。

—日々、どのようなスケジュールですか。

朝は、夫が洗濯物干しや朝食の片づけや上の子の世話をし、私が朝食の支度や下の子の世話を担当。7時半過ぎに子どもを保育園に送り、出勤。18時～18時半に帰宅。子どものお迎えと夕食の支度は実家の母に協力してもらっています。

基本、家事育児は夫婦のやれる方がある。毎日何かしらの仕事を持つて帰りますが、やれない日もあります。そのまま翌日に…。

—復帰後の現場に変化はありますか。

女性カレッジでは「5年経つと世の中が変わる」と学んだのですが、私の職場ではパソコンの入力システムが変わったほかには目立つた変化はみられず、安心すると同時に

に、少し驚きを感じました。
—パートナーが育休を取得するとは考えなかつですか。

3人目の出産の時に、夫が1ヶ月の育休取得を職場に打診したもの

としては難しく、認められませんでした。その代わり、時間休を使つて、毎日上の子の世話や保育園の送り迎え、家事などをしました。

当時は、夫が長期の育休を取つて、私が復帰することは考えませんでした。今思えばその選択肢もあつたかと（笑）。最近では、男性教員でも育休を取得する人が出てきています。

—多様な職種の人が参加する女性カレッジを受講してご自身の中に変化はありましたか。

ひと言でいえば視野が広がったということ。夫婦で教員だと友人も同業が多くなりがちです。男女差がないことや、様々な制度があり活用できることは民間企業では当たり前ではありません。保護者の状況や生徒たちがこれから働く社会に思いを馳せることができるようにになりました。社会のことを知つて、自分の置かれている状況も客観視できるようになったと思

います。

—現場に戻つて、以前はあまり気にならなかつたことで気になることはありますか。

教員は男女平等だと思っている人が多いのですが、アンコンシャスバイアス（無意識の偏見）はあると思います。例えば第三者面談に来るのは圧倒的に母親が多く、父親



◆11月25日は女性に対する暴力撤廃の国際デー◆

女性に対するあらゆる暴力の撤廃に取り組むため、2008年に国連によって制定されました。日本では、毎年11月12日～25日を「女性に対する暴力をなくす運動」期間として、暴力の根絶を呼び掛ける運動を展開しています。夫・パートナーからの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー等、暴力は女性の人権を侵害する行為。シンボルのパープルリボンは「暴力はイヤ」のしるしです。一方、世界では11月25日～12月10日を「女性に対する暴力撤廃の16日間」として世界的なキャンペーンが繰り広げられます。こちらのシンボルカラーはオレンジです。

わたしらちは
あらゆる暴力を
許しません!!

静岡市の働く既婚女性の一割を占める家族従業者にスポットを当て、その多くが自営業者の妻と考えられることから、講座「一緒に働く夫婦がいい関係でいる方法」を開催（5月22日、6月12日）しました。

1回目の講師はキャリア相談を担当している当館職員。自営業の共働き夫婦は多くの時間と空間を共に過ごすため、職場での関係性を家庭に、「家庭での関係性を職場に持ち込みやすい環境にあります。『常に上司が一緒にいる』とならないように、職場の間で息がつまる」と家庭では関係性を切り換える、お互いが対等なパートナーであると意識することが大切です」とアドバイスしました。



【自営業の夫を持つ女性へ】

講座「一緒に働く夫婦がいい関係でいる方法」より

また、夫は妻に「従順な部下」「家事・育児を一人で完璧にこなす主婦・母親」であることを期待する一方、自身は職場の責任を一人で背負いがちです。しかし、本来ふたりは家庭でも職場でも「共同運営の仲間」であるはず。「①妻もやりがいを持つて働けるよう経営目標や収益の配分などを共有する②生活面の役割分担や子どもや夫婦の将来についてともに考えて行動するなど、家庭と職場の両方の運営に関わることがよりよい関係づくりにつながります」。

2回目の講師の具ゆりさんはフェミニニストカウンセラー。パートナーと一緒にいる時に感じた「快・不快」を書き出してみることを勧めています。「特に「不快」に注目してください。感情には意味があり、自分の欲求やニーズを教えてくれます」。また、世の中が決めていたり性別役割（＝ジェンダー）の影響を受けると、女性は自分のことを後回しにして相手を優先したり、相手の問題を自分の責任のように考えてしまって、自己尊重感が妨げられてしまうと具さんは指摘しました。「相手の要望を断るのに理由は必要ありません。自分の大切な人にそうするように、自分のことを大切にしましょう」。

◆ ◆ ◆

054-248-1234

6/16 | 男女共同参画週間記念講演 働く女性が自信を持つ5つのヒント

女性活躍と言われるけれど、男性と比べて「自信がもてない」女性が多いのはなぜか。ジャーナリストの治部れんげさんから学びました。「女性が男性と比べて自信がないのは世界的な傾向である」「自信がない人をサポートするのは管理職の役割」「男性も自信があるから仕事をしたり昇進しているわけではない」「不当ないじわるは無視する勇気を」「最後に決めるのは自分自身」など、講師自身の体験を踏まえて分かりやすくお話をいただきました。



8/9 | グローバルに働く私の未来

語学や海外に興味のある女子学生を対象に、グローバルに活躍している先輩女性から話を聞くセミナーを開催。ゲストはNGOで途上国の少女を支援している中島玖さんと、通訳のほか日本で暮らす外国人の支援を行う多文化ソーシャルワーカーの神田すみれさん。それぞれの活動紹介のあと質問タイムでは、率直な質問が続出。国内外の女性が抱える問題から学生時代の留学の話まで、グローバルに働くために大事なことを惜しみなく教えていただきました。



8/24 | 静岡ケアメン入門講座③

静岡に1人でも多くのケアメン（介護を担う男性）を増やしたい—そんな思いで、介護される人の気持ちを尊重しながら、頑張りすぎない介護の基礎を学ぶ3回シリーズの講座を開催。最終回は「知っておきたい排泄ケア」。排泄機能指導士の澤原政野さんから、排尿・排便のメカニズム、介護される人のプライドを守り、安心してもらえる排泄ケアについて学びました。参加者から「紙オムツ体験がよかったです」「すぐ実践したい」等、感想をいただきました。



*** AICEL TOPICS ***



修了生特典！ カレッジ13～15期 つなぐ会

1995 年にスタートした女性のための人材育成講座アイセル女性カレッジ。6月 29 日、「戦略的キャリア形成プロジェクト」と題して実施した 13 期から 15 期までの修了生を対象に、株式会社アイ・キューブの広野郁子社長を講師に迎え「キャリアアップを目指す女性のためのマーケティング講座」と交流会を開催しました。

13～15 期の修了生が一堂に会するのは初めてでしたが、「目的展開」のワークでは、ポジティブかつ予想外の着眼点が出るなど、カレッジでの学びが生かされていました。交流会には、講師の広野さん、カレッジでお世話になった株式会社るるキャリアの内田美紀子社長や静岡県立大学の犬塚協太教授も加わり、カレッジを通じて新たな交流が生まれました。



子ども室の飾りつけ ボランティア 祝！活動15周年

子ども室の飾り付けを行う施設ボランティア「つくしんぼ」が、活動開始から 15 周年を迎えました。2004 年に「子ども室施設ボランティア養成講座」が開かれ、参加者の有志で活動を開始。現在は 4 人のメンバーが、動物や子ども、花、乗り物などをモチーフにした貼り絵や折り紙を制作して飾りつけをしています。活動は約 3 カ月ごと。自宅で作品を作って持ち寄っています。毎回、季節に合わせた色鮮やかな展示が子どもたちを優しく迎えてくれています。活動が長続きしている秘訣について、メンバーは「仲間に恵まれているから」「介護などで忙しい時も、みんなが助けてくれるから続けられる」と話しています。また、子ども室利用者から展示についての感想をもらえるのが、何よりの励みになっているそうです。今後については、皆さん揃って「無理なく、長く続けていきたい」とのことです。



職員全員で ファシリテーション 研修

女性会館は総勢 20 人の職員が従事しています。職種は講座の企画・実施や施設管理に携わる事務職、司書、相談員、夜間施設管理など多岐にわたります。どの部署もローテーション勤務で、全員が顔を合わせる機会はめったにならないため、休館日を利用して、全職員が参加する研修会やミーティングを実施しています。

5 月 12 日、「ファシリテーション力を身につける」研修を行いました。講師は鈴木まり子さん。ファシリテーションは、立場や部門が異なる職員が意見を出し合い、よりよい会館運営・組織運営をするために必要なスキルです。主役である参加者が納得して物事を決められるように会議を促進することがファシリテーターの役目。ファシリテーターでなくても、よい参加者になることが大事であると学びました。職員自らが決めて、動く、そんな組織になれるよう、皆で研鑽を重ねてまいります。



図書コーナーに 自習席が できました！

「情報の力で女性をエンパワーメント！」をモットーに資料を収集・貸出している図書コーナー。これまで限られたスペースでは、ひとりで利用できる机は 2 台所と少なく、利用は図書コーナーで所蔵する資料を使っての読書や勉強に限られていたしていました。

そこで、もっと過ごしやすく、利用しやすい場所とするため、8 月 1 日から新聞コーナーを 2 階の団体活動室に移しました。図書コーナーの空いたスペースには机とイスを増設しました。従来の利用に限らず、学校の宿題や自習、研究など、多くの方に利用いただけるようになりました。飲食は 2 階の団体活動室への移動をお願いしていますが、図書コーナーでは、水筒やペットボトルなど蓋の付いた飲み物はお飲みいただけるようになりました。新しくなった自習席をどうぞご利用ください。



これからの講座のご案内

2019年12月～2020年3月



YouTubeに乗せて伝えたい！ LGBTQのこと

最近よく聞く「LGBTQ」ってどういうこと？YouTubeを使って「LGBTQってもっと身近にいるよ」「ありのままの自分でいいよ」とメッセージを発信しているかずえちゃんが女性会館にやって来ます。当日はLGBTQのこと、動画制作の裏側、ノマドワーカーとして旅しながら仕事をする話などをうかがいます。

日 時 2019年12月14日(土)
13:30～15:30

対 象 どなたでも 50人

講 師 かずえちゃん (YouTuber)

参加費 無料

申込み 11月6日(水) 10:00から
電話またはHPで(申込順)

第16期アイセル女性カレッジ プレゼンテーション

2019年7月にスタートした第16期アイセル女性カレッジ「組織の中で働き続けるためのキャリア戦略」。グループに分かれてテーマを設定し、半年間かけて、調査・研究に取り組みました。最終回は、グループごとに学びの成果を発表します。女性の活躍に関心がある方、来年度、カレッジの受講を考えている方も必見です！

日 時 2月8日(土) 10:00～12:00

対 象 どなたでも 20人

参加費 無料

申込み 1月7日(火) 10:00から
電話またはHPで(申込順)

どうする？！災害時のトイレ問題

災害が起こったら、真っ先に困るのがトイレ。避難所でも、自宅でも、水洗トイレはまず使えない。トイレは健康管理の第一関門。怠れば災害関連死にもつながりかねません。「災害時でも皆が安心して使えるトイレ」について考えます。

日 時 2月15日(土) 13:30～16:00

対 象 どなたでも 60人

講 師 加藤篤さん (トイレ研究所代表)

参加費 無料

託 児 要申込、1歳～未就学児、
子ども1人につき500円

申込み 1月7日(火) 10:00から
電話またはHPで(申込順)

申込み先・問合せ先 ▶▶▶ 静岡市女性会館 ☎ 054-248-7330 HP <https://aicel21.jp>
※会場は、女性会館（アイセル21）になります。

部下・後輩のモチベーションをUPするマネジメント術

育児や介護など制約があって働く人が増えている今、「効率的に仕事をしていても認めてもらえない」「意欲的に働いていても評価されない」など、不満を抱えている女性は少なくありません。言うべきことはきちんと伝え、部下や後輩のやる気をUPさせるフィードバックについて体験を通して学びます。

日 時 2月19日(水) 13:30～16:00

対 象 指導的立場にある人 25人

講 師 柴田朋子さん (JUNO代表)

参加費 無料

申込み 1月14日(火) 10時から
電話またはHPで(申込順)

人生100年時代のお葬式とお墓

人生の終末期、頼れる家族や親族がない場合、自分のお葬式やお墓をどうしたいですか？配偶者や子どもも高齢化が進み、家族の有無に関わらず、最後はひとりになる可能性は誰にでもあります。『だれが墓を守るのか』や『ひとり終活』などの著書のある小谷みどりさんから、今時の葬送の現場や備えについて聞きます。

日 時 2月28日(金) 13:30～15:30

対 象 どなたでも 50人

講 師 小谷みどりさん
(シニア生活文化研究所所長)

参加費 無料

申込み 2月3日(月) 10:00から
電話またはHPで(申込順)

身近な人がアスペルガーかな？と思ったら～知つていればお互いラクになる方法～

身近な人の関係で、不安や怒り、孤独を感じてませんか？周囲の人に相談しても「男の人ってそういうものよ」「あなたの我慢が足りないので」と言われて罪悪感が増すばかり…。周囲から理解されにくい家族の問題に潜む「発達障がい」について、正しく理解をすると共にその対処方法を一緒に考えます。

日 時 3月7日(土) 13:30～16:00

対 象 女性 20人

講 師 櫻田万里 (SORA) さん
(アスペルガー・アラウンド代表)

参加費 無料

託 児 要申込、1歳～未就学児、
子ども1人につき500円

申込み 2月7日(金) 10:00から
電話またはHPで(申込順)

図書コーナーご案内

図書コーナーは、男女共同参画社会実現のために、情報の力で女性をエンパワーメントすることを目的とした女性問題の専門図書館です。

図書・情報の専門スタッフが、より良い人生をすごしていただくためのお手伝いをします。

女性、男性を問わずに利用ください。

◆場 所 静岡市女性会館 1F

◆利用時間 9:00 ~ 19:00

◆休 館 日

- ・第2・4月曜日
- ・年末年始、蔵書点検及びシステムの入れ替えのため、12/23~1/13まで休み。※1/12は返却のみ受付。
- ・図書整理日ほか

◆貸出点数

- ・図書、雑誌あわせて5点
- ・CD、カセットあわせて2点まで

◆貸出期間 2週間

◆貸出方法

貸出には図書コーナー専用の利用者登録カードが必要です。

免許証、保険証など公的機関発行の証明書をお持ちくさればその場で発行します。



静岡市女性会館 アイセル 21

所在地 静岡市葵区東草深町3-18

開館時間 9:00 ~ 21:30

休館日 第2・4月曜日

年末年始(12月28日~1月4日)

T E L 054-248-7330

F A X 054-246-7833

E m a i l mail@aice121.jp

H P http://aice121.jp/

バス

JR 静岡駅北口10番のりば
県立病院高松線
「アイセル21」前下車

徒歩

JR 静岡駅北口より30分
静鉄新静岡駅より20分
日吉町駅より15分

相談 無料 秘密 厳守

女性のための総合相談

ひとりで悩まないで、まずはお電話を
結婚・離婚、恋愛、夫婦のこと、孤独、暴力・虐待、DV、
職場の人間関係、セクハラ、将来への不安、妊娠・出産、
子育て、母娘のこと、心身の不調…

女性の相談員があなたの気持ちを尊重し、一緒に解決を目指します。
電話相談の事前予約は不要です。まずはお電話ください。

女性会館 相談専用ダイヤル **054-248-1234**

| 受付時間 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|---|---|---------------------|---|---|
| 10:00 ~ 13:00 | ○ | ○ | / | ○ | ○ |
| 14:00 ~ 18:00 | ○ | ○ | 14:00 ~ 20:00 | ○ | / |

●女性相談員による面接相談(予約制/1回50分)●

電話相談のあと、ご希望や必要に応じてご利用いただけます。

●女性弁護士による法律相談(予約制/1回30分)●

第1土曜日・第3木曜日 14:00 ~ 17:00

40代以下の女性のための 就職・転職・キャリア相談

面接・事前申込予約制 申込受付日時 同月の1日(1月のみ5日) 12:30より

相談日 每月第3木・金・土曜日 ①10:30 ~ 11:20 ②13:30 ~ 14:20 (50分)

まずはお電話でご予約ください。
事前に相談シートをお送りします。女性会館事務室 **054-248-7330**

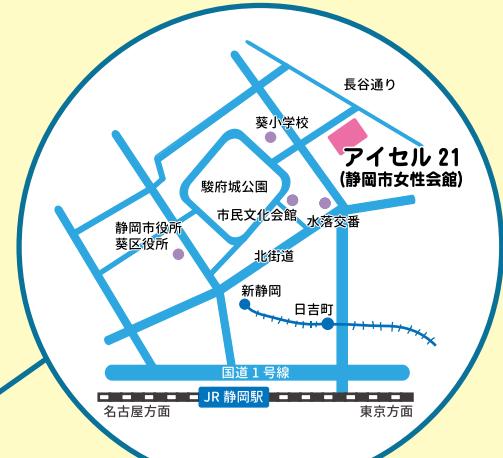
アイセル 21 にじいろ電話相談

性的マイノリティや多様な性についての専門相談窓口です。

- 恋人やパートナーのこと
- 誰にも話せなかったこと
- これまでの自分・これからの自分のこと
- 学校、職場でのこと
- 家族のこと など

毎月第2土曜日 14:00 ~ 17:00

054-248-2216



W A V E

発行年月：2019年11月

編集・発行：静岡市女性会館(指定管理者 NPO法人男女共同参画フォーラムしづおか)

